令和５年度　石狩市　組織運営方針

生涯学習部

組織図は、最終ページに記載

部の役割

自ら主体性を持って学び、可能性に挑戦すること、成長することに喜びを感じ、かつ思いやりをもって人とふれあうことに豊かさを感じ、協働により未来の地域社会を担う市民を育むことを理念に、教育の推進に関する業務を行っています。

教育プランに掲げる基本方針

方針１　新しい社会で生きる力の育成
方針２　学びを支える家庭･地域との連携･協働の推進
方針３　学びをつなぐ学校づくり
方針４　健やかな成長を促す取組の推進
方針５　学びを活かす地域社会の実現
方針６　ふるさとを学ぶ機会の充実

施策

① 確かな学力の育成（次長班）
② 開かれた学校づくりと学校施設の整備（総務企画課）
③ 教員の働き方改革（学校教育課）
④ 不登校支援の充実（教育支援課）
⑤ 生涯学習の振興･芸術文化活動の推進（社会教育課･公民館）
⑥ ふるさとを学ぶ機会の充実（文化財課）
⑦ 読書活動の推進･図書館サービスの充実（市民図書館）
⑧ 健康･食育の推進（給食センター）

各施策の詳細

①　確かな学力の育成（次長班）

これからの時代に求められる資質・能力を身に着け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるよう、子どもたちに主体的・対話的で深い学びの視点から授業を実践するとともに、学力向上に向けた検証改善サイクルを確立し、学習指導の改善・充実に努めます。

【主な取組】

・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改革の推進
（「対話」重視の指導、1人1台端末の各教科の指導における有効活用　等）

・学習内容の定着を一層確かにする工夫
（伸びしろ層・中間層・定着層の各層に応じた指導、1人1台端末の持ち帰りと連想した家庭学習の工夫　等）

・特別支援教育の充実

指標	実績（令和４年度）	目標
CRT 標準学力調査で同一母集団前年度全国比を上回る	国語　小５　97% 　　中２　96% 英語　中２　96% 理科　小５　94% 　　中２　93% 算数　小５　95% 数学　中２　90%	各100%以上

②　開かれた学校づくりと学校施設の整備（総務企画課）

コミュニティースクールを中心に、地域と学校の連携・協働による子どもたちの成長と地域づくりを進めます。

老朽化が進んでいる学校施設や設備の整備を計画的に行います。

【主な取組】

・コミュニティースクールの活用による地域一体の学校運営
・浜益区における教育環境の整備
・老朽化が進む学校施設の改修　など

指標	目標
浜益区義務教育学校施設の整備	令和６年度の工事着工に向けて、令和５年度中に実施設計を行う

花川南中学校の大規模改修	令和 4 年度～5 年度の2か年工事施行
南線小学校の校舎増築	･令和5年度増築 ･令和6～10年度まで5年リース

③　教員の働き方改革（学校教育課）

「教員のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子どもたちに対して効果的な教育活動が行われること」を目的に、令和3年7月に策定した「働き方改革推進計画（第 2 期）」 を踏まえ、実効性の高い働き方改革を推進します。

［主な取組］

･ICT を積極的に活用した業務等の推進

･部活動指導員の積極的な活用

･メンタルヘルス対策の推進

指標	実績（令和3年度又は令和4年度）	目標
教員職員の「時間外在校等時間」について、月４５時間以内、年３６０時間以内の教育職員の割合	月 45 時間以内 26.6% 年 360時間以内 53.1% ※令和3年度実績	↑
ストレスチェックの高ストレス判定者の割合	9．2%	↓

④　不登校支援の充実（教育支援課）

不登校支援のあり方については、児童生徒の社会的な自立に向けて支援が行われていますが、市内における不登校児童生徒数は増加している傾向にあります。

このような状況の中、教育支援センター（適応指導教室）への通級児童生徒の増加、1人1台端末を活用した支援など、支援のあり方が多様化してきています。

令和5年度は、これまでの取組を振返り、児童生徒の不登校支援について、学校の後押しとなる新たな取組も始め、支援が充実することを目指します。

［主な取組み］

･ スクールソーシャルワーカー及び教育支援主事（生徒指導担当）と学校と連携の

充実
・ ＩＣＴを活用した学習活動に関する不登校児童生徒の出席扱いのガイドラインによる仕組みのスタート（新規）
・ 学校内の別室における不登校支援の充実（新規）

指標	実績（令和３年度）	目標
スクールソーシャルワーカー（SSW）が行った相談の延べ件数	SSW　５２２件	↑
不登校児童生徒のうち、登校できるようになった割合	小　３８.７１％ 中　３９.２６％	↑
不登校児童生徒のうち教育支援センター、フリースクール、病院などにつなげられた割合	小　５８.０６％ 中　７８.５２％	↑

⑤　生涯学習の振興・芸術文化活動の推進（社会教育課・公民館）

地域の実態に即した学習環境づくりや学習成果を活用する仕組みづくりなど、生涯学習社会の構築に向けた社会教育の充実に取り組みます。

公民館を拠点に、市民が芸術文化を身近に接する機会の提供と、芸術文化活動を生涯にわたって続けられる環境づくりを進めます。

［主な取組］
・公民館等における活動団体の自主的な活動発表の場づくり
・「いしかり市民カレッジ」「石狩シニアプラザはまなす学園」などの推進・支援
・社会教育施設等の整備と施設の特性を生かした有効的な活用（市民図書館との連携）
・地域文化の振興
・「情操プログラム」（あい風コンサート・The　music）などの開催
・家庭教育支援

指標	実績（令和４年度）	目標
市教委や社会教育団体が行った市民向け講座等の開催数	７８４回	↑
市教委が実施する体験活動の回数（情操教育プログラムなど）	１３回	↑

⑥　ふるさとを学ぶ機会の充実（文化財課）

　将来、様々なステージで活躍する子どもたちに、石狩の歴史、文化等をしっかり伝え、ふるさと石狩に愛着と誇りを持てるように、「ふるさと教育」を推進します。

　また、文化・伝統を継承するため、文化財を適切に保護・保存し、維持管理に努め、文化財に親しむ機会やふるさとを学ぶ機会を提供します。

［主な取組］

・総合的な学習の時間の活用など、ふるさと教育の実施
・各種講座の開催
・市民図書館、海浜植物保護センターなどと連携した学習機会の提供
・資料館や道の駅の情報コーナーなど活用した情報発信の充実　など

指標	実績（令和４年度）	目標
ふるさと学習に関する講座等の開催数	7回	↑
資料館の延べ入館数	２，０２７人	↑

⑦　読書活動の推進・図書館サービスの推進（市民図書館）

　市民一人一人の学びへの意欲を喚起し、潤いある生活と活力ある地域づくりを推進するため、生涯学習環境を構築する観点から、図書館機能や蔵書の充実を図るとともに、市民協働によるサービスの充実を図ります。

　また、社会教育課との連携事業推進により、新たな図書館の魅力発信に努めます。

［主な取組］

・レファレンスサービス（調べもの相談）の充実
・ボランティアによるおはなし会、ＤＶＤ上映会
・蔵書の充実や地域資料の収集・提供　など

指標	実績（令和 4 年度）	目標
市民図書館（本館）の入館者数	１７５，７３７人	↑
ボランティアなどによるイベントの開催数	51回	↑

⑧　健康・食育の推進（給食センター）

　安心・安全な学校給食の充実を図るとともに、食に関する指導の充実を図ります。

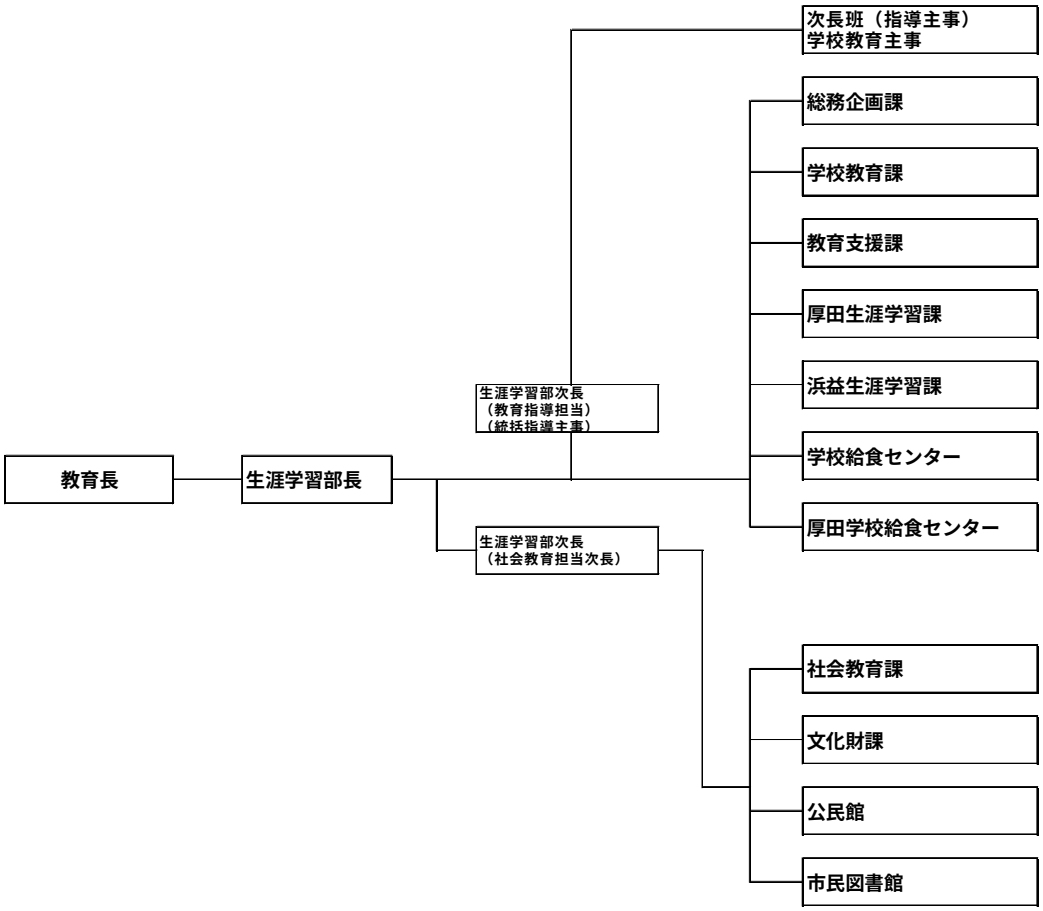
　厚田給食センターでは、排水設備の改修を行い、安定した給食の提供に努めま

す。

【主な取組】

・学校給食「いしかりデー」の開催

・栄養教諭を中心とした「食に関する指導」の充実　など

指標	実績（令和４年度）	目標
学校給食における、米及び主要な野菜の全使用量のうち石狩産食材の割合	４８．７％	↑

石狩市教育委員会事務局組織図